

事業報告

第10期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

1 調理師を志す調理師試験受験生への支援事業

(1) 調理師教本頒布数 1481部

調理師試験問題集頒布数 796部

調理師試験科目変更5年目であり、前年度に引き続き各方面への両書の広報に取り組んだ。また、2022年度の調理師試験に対応するべく、調理師教本並びに調理師試験問題集の新訂版を作成するため、令和3年度は直近の各県調理師試験内容を研究した。

(2) 「通信教育」及び「模擬試験」

新たなカリキュラムの編成等について調査研究を行い、新訂版に準拠するインターネットによる通信教育（eラーニング）事業を行った。

受講者 3名

2 各種研修事業の実施

(1) 調理師健康教育事業：静岡県（2会場） . . . 修了者 111名

愛知県（5会場） . . . 修了者 194名

合計 305名

(2) 熟練者講習事業：岩手県 16名

愛知県 19名

石川県 15名

例年行われている調理技術指導員講習・日本食育指導員講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

3 調理師就業届出の周知徹底事業

今年度は2年に一回の就業届出年に該当しないため、広報用ポスター頒布実施はなし。

4 広報活動事業

(1) インターネット等を活用し、各会員・賛助会員とその他各方面と情報交換を行った。

(2) webサイトにより各種関連情報を広く一般に提供した。

(3) 日調ホームページを活用し、随時最新の情報を、各都道府県調理師会を通じ各会員への情報提供を行った。

5 食育関連事業

食育推進事業として、「第12回 全国こどものための愛情弁当コンテスト」を実施し、広く「食育」を啓発するとともに、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会等の他団体と連携し、子供たちの基本的な生活習慣を育成する普及活動に協力した。

(実施内容 結果)

事業名： 第12回 全国こどものための愛情弁当コンテスト

目的： 食育事業の一環として育ち盛りの子供たちに食べさせてあげたい各都道府県の地産品を使ったお弁当コンテストを開催し、お弁当を作る保護者などに対し、これを機会に各地の地産品やバランスのとれたお弁当作りに興味を持たせ、食を通じ親子の心のふれあいを図り愛情を深めるとともに食に対する国民の意識の啓発に寄与することを目的とする。

参加要領：調理師免許を持ち調理業務に就業する者を除く国民が、参加資格を持つ。

子供向けのお弁当を原価 350 円以内で、毎日無理なく作れるもの・地産品を入れる・弁当箱は普段使っているものを使用・見て楽しく、食べて元気になれる弁当であること。参加者は各地の調理関係団体を通じて書類を提出し予選に参加し、選ばれた作品の中から本会が本選を行い優秀作品を決定して表彰する。

募集期間：令和3年10月21日～令和4年1月31日

審査開催日程：各都道府県予選 令和4年1月31日

本会本選 令和4年2月28日（コロナのため中止）

選考方法：予選審査は各都道府県において、調理師会の理事等で公正公平に行い作品を選考する。予選審査を通過した作品の中から、(公社)日本調理師会において、審査委員会で選考する。今回は新型コロナウイルス感染症流行のため、審査委員会は中止し、各審査委員に候補作品の写真を送り、点数付けをして頂き、事務局で集計した。

審査委員会：審査委員長 前田洋三（日本調理師会 会長）、有識者 古畑 公・長谷川 典男・阿知和 梨香・副会長 川副 憲雄・佐藤 衛・湯本 忠仁・三宅 邦夫・川島 壽元、専務理事 濱名 和雄

理事会開催日：令和4年3月29日 理事会において、集計した点数をもとに各賞を決定した。

全国予選応募作品数： 1,233作品

本選推薦作品数： 42作品

(公社)日本調理師会	最優秀賞：	1作品
国民の健康と食の安全を考える会	最優秀賞：	2作品
(一社)神奈川県畜産振興会賞	：	1作品
神奈川県牛乳普及協会賞	：	1作品
(公社)日本調理師会	優秀賞：	7作品
(公社)日本調理師会	優良賞：	30作品

6 健康増進啓発事業

(1) 受動喫煙防止策

web サイト等を媒体として積極的に分煙活動を推進するとともに、より良い環境づくりを目指し他団体と連携し、分煙の徹底について啓発を行った。

(2) 「国民の健康と食の安全を考える会」

愛情弁当コンテストの後援をいただくべく説明活動を行った。

7 調理師制度における資質と地位の向上への取り組み

・調理師制度の改善、調理師の資質の向上を図るとともに、国民の食の安全安心を確保するため、管理調理師（仮称）制度の創設について検討した。国政で取上げてもらえるような素案作成のための各方面への相談を行った。

8 表彰事業の実施

(1) 会長表彰	: 令和3年 6月		32名
(2) 永年功労表彰等	: 令和3年 6月		18名
(3) 調理技術奨励賞	: 令和3年 5月	金賞（長野県）	3名
		金賞（岐阜県）	2名
		銀賞（長野県）	3名
		銀賞（岐阜県）	1名
		銅賞（長野県）	3名

9 表彰等推薦事業の実施

(1) 叙勲・褒章	: 令和3年 4月29日	1名
(2) 厚生労働大臣表彰	: 令和3年11月30日	33名
(3) 「現代の名工」	: 令和3年11月 8日	1名

10 組織の拡充強化の促進

1) 現状の組織に合わせた規約についての検討を重ね、綱紀粛正をもってガバナンスを向上させ、組織の健全な運営を図り社会的信用を向上させるために、コンプライアンス委員会を発足し、その報告に基づき以下の2規程を設置した。

- ・コンプライアンスガイドラインの設置
- ・コンプライアンス規程の設置

2) 「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」（平成30年法律第77号）が制定されたことに伴い、入会および退会規程を組織委員会で見直し検討を重ね、対応策を講じた。

- ・入会申込書の書式を改める規定の設置

11 各都道府県調理師会等事業、会議等に対する支援事業の実施

各都道府県調理師会等の総会、コンクール、記念事業等に対し、祝電、会長賞等の授与等を行った。また、各地方の記念事業への出席要請により参加して意見交換、指導等の支援を行った。

今年度はコロナ禍の影響があり、各都道府県調理師会等における調理師試験準備講習会が軒なみ延期や中止になったため、支援活動は振るわなかった。

12 協力団体等に対する支援事業の実施

本会の事業推進に協力する諸団体等の総会、コンクール、記念事業等に対する協賛、協力、後援、祝電、会長賞等の授与等による支援についても今年度はコロナ禍の影響があり、支援活動は振るわなかった。

13 正・賛助会員の入会促進

正会員として1会員が入会したが、2会員が退会した。また、今年度はコロナ禍の影響があり、企業活動が振るわなかったため、3賛助会員が退会し、入会する企業がなかった。

14 会議等の開催

(1) 通常総会 2021年 9月 7日 (火) 崎陽軒 本店 会議室

(2) 理事会

第一回 2021年 8月 3日 (火) 横浜新都市ビル会議室9F

第二回 2021年10月21日 (木) 神奈川県畜産センター2F 会議室

第三回 2022年 3月29日 (火) 神奈川県畜産センター2F 会議室

(3) 正副会長会議

2021年 5月10日 (月) ヨコハマジャストビル1号館

2021年 7月 9日 (金) 横浜新都市ビル会議室9F

2021年 8月 3日 (火) 横浜新都市ビル会議室9F

2021年10月21日 (木) 神奈川県畜産センター2F 会議室

2022年 3月20日 (日) 神奈川県畜産センター2F 会議室

2022年 3月29日 (火) 神奈川県畜産センター2F 会議室

(4) 委員会

・コンプライアンス委員会

2021年 7月 5日 (月) 横浜新都市ビル会議室9F

2021年10月21日（木）神奈川県畜産センター2F会議室

2022年 3月29日（火）神奈川県畜産センター2F会議室

・総合事業企画委員会

2021年 7月 9日（金）横浜新都市ビル会議室9F

2021年10月 6日（水）神奈川県畜産センター2F会議室